

心理小委員会 活動報告

心理小委員会
小委員長 和氣 典二

1. 研究目的

心理小委員会では、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、その成果を実際の地下施設への適用を検討することを目的として、フィールド実験を中心に研究活動を行っている。

2. 研究内容

2.1 テーマ

- (1) 土木・心理・建築からみた地下空間—仮称「わかりやすい地下空間と人間」の考えと展開
- (2) 地下における非常時の行動と交通弱者の行動
- (3) 移動手段の違いによる生理的・心理的負荷の程度や深度による影響の研究
- (4) QOLによる地下空間の評価

2.2 基本方針

- ・各分野から話題提供を頂き、「わかりやすい地下空間」とするためには、どのような点に注意すべきかまとめていく。
- ・地下における非常時（火災時、出水時、パニック等）の人間行動について、画像データを用いて非常時を再現することで心理的な側面から検討を行う。また、地下空間における交通弱者の行動について検討を行う。
- ・移動手段の違いが年齢によってどれくらいの疲労感をあたえるか、実空間を用いて心理的・生理的に調査する。
- ・QOLを用いた地下空間の評価手法について検討を行う。

2.3 研究スケジュール（3か年）

活動内容／年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1)情報・資料の収集整理	←→		
2)事例の調査・研究		←→	
3)課題の抽出, 具体的分析研究		←→	→
4)成果とりまとめ			←→

3. 活動経過（平成21年1月～）

◇2月28日（土） 第3回小委員会

- ①副都心線渋谷駅、明治神宮駅、新宿三丁目駅 見学会
- ②話題提供筑波大学心理学系菊地正教授「方向感覚が帰路探索型の移動行動に及ぼす影響」
- ③フィールド実験について
- ④重点研究課題について

◇6月11日（木） 第4回小委員会

- ①映像を使ったパニックの実験について：実験準備の進捗など
- ②地下鉄フィールド調査について：土木学会全国大会、地下空間研究委員会シンポジウムでの発表準備

◇8月25日（火） 第5回小委員会

- ①岡林繁教授、安藤氏、笠木氏話題提供
- ②施設見学
- ③映像を使ったパニック実験の進捗
- ④全国大会について
- ⑤幹事会報告

◇10月27日（火） 第6回小委員会

- ①セコムIS研究所 見学会
- ②映像を使ったパニック実験の進捗
- ③親委員会からの連絡事項

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先名称
委員長	和氣 典二	中京大学、神奈川大学
副委員長	市原 茂	首都大学東京
委員	神作 博	中京大学
委員	向井 希宏	中京大学
委員	榎本 博明	名城大学
委員	吉本 直美	名城大学
委員	松本 直司	名古屋工業大学
委員	釘原 直樹	大阪大学
委員	清水 則一	山口大学
委員	本多 薫	山形大学
委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	佐藤 歩	東京消防庁
委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所
委員	山村 信雄	株式会社技術研究所
委員	林 将廣	株式会社アイ・エス・エス総研
委員	高井 智代	名古屋工業大学
委員	日比野 敏	(財)電力中央研究所
委員	西 淳二	株式会社ユニオン・エンジニアリング
委員	三島 和子	セコム(株)
委員	水口 雅晴	三菱地所(株)
委員	河本 健一郎	川崎医療福祉大学
幹事	三田 武	株式会社日建設計シビル
幹事	床尾 あかね	東京海上日動リスクコンサルティング(株)

(2009年6月現在)